

これだけはぜひ守りましょう!

## 安全運転のために

★腰ベルトは  
いっぱいひきだして腰骨の位置にピッタリと装着  
しましょう。



腹の位置にかけると万  
一のとき身体に食いこみ危  
険です。

### ★ヘッド・レストの位置は

ヘッド・レストとの間にはぎりこぶしの幅以上あ  
けないようにしましょう。

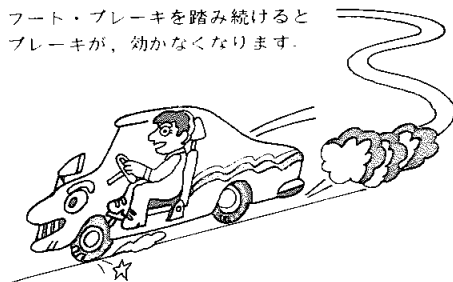


ヘッド・レストとの間  
隔が多いと万一のとき  
危険防止に役立ちませ  
ん。

### ★長い坂道を下る場合は

エンジン・ブレーキを活用しましょう。

フット・ブレーキを踏み続けると  
ブレーキが、効かなくなります。

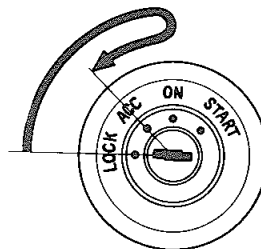


エンジン・スイッチをLOCKの位置にしないでください。  
ハンドルがロックされているとハンドルがきれなくなり危  
険です。

### ★エンジンを停止して移動する場合は

(けん引される場合など)

エンジン・スイッチは一度ONにしてからACC  
の位置にしましょう。

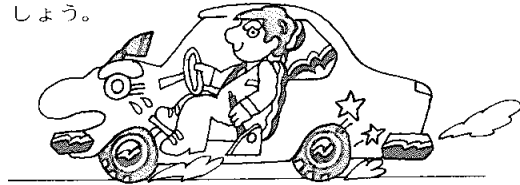


LOCKの位置  
にして万一手  
ドルがロックさ  
れているとハン  
ドルがきれなく  
なり危険です。

## 故障しないために

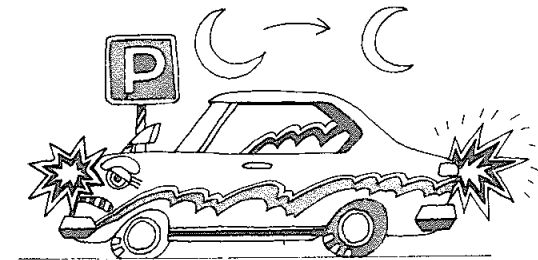
### ★パーキング・ブレーキ・レバーは

走行する前に必ず確実にもとの位置までもどし、インジケーター・ランプが消灯するのを確かめましょう。



ひいたまま走行するとひきずりを起こしブレーキが効かなくなります。

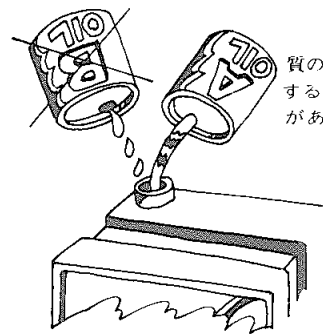
★エンジンを停止してランプ類を使用するときはバッテリーは完全充電でも、エンジンを停止していると消耗がはげしいものです。パーキング・ランプ、ハザード・ウォーニング・ランプなどは必要以外には、使用しないように。



長時間使用はバッテリーあがりの原因になります。

### ★オイルの補給は

同品質かまたはそれ以上のオイルを使用しましょう。

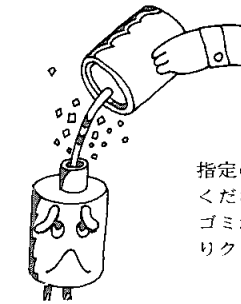


質の異なったオイルを補給すると性能が低下する恐れがあります。

### ★寒冷時になる前にラジエーターには (不凍液の注入の項目参照)

気温に応じた適当な濃度の不凍液またはロングライフ・クーラントを入れましょう。ただし、ロングライフ・クーラント注入済みの車両は入れ替える必要はありません。

### ★ブレーキフルードを補給するときは

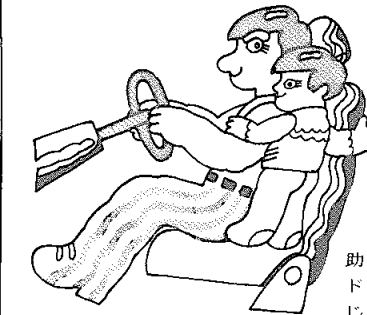


タンク内にゴミがはいらないように充分注意しましょう。

指定のブレーキフルードを必ずご使用ください。ゴミがはいるとブレーキは効かなくなりクラッチは故障します。

## お子様を乗せるとき

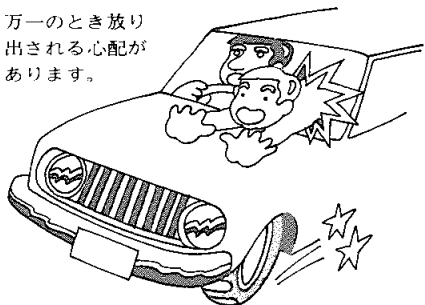
★なるべく保護者と一緒にリヤ・シートにすわらせましょう。助手席ではドライバーのじゃまになり大変危険です。



助手席ではドライバーのじゃまになります。

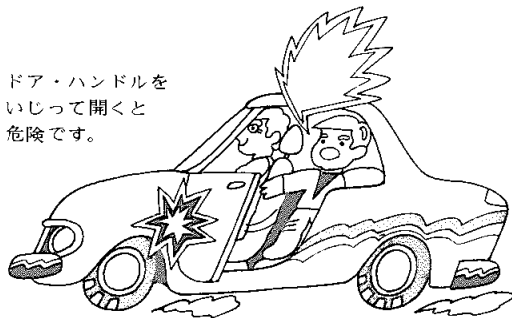
★必ずリヤ・シートにすわらせましょう。

万一のとき放り出される心配があります。



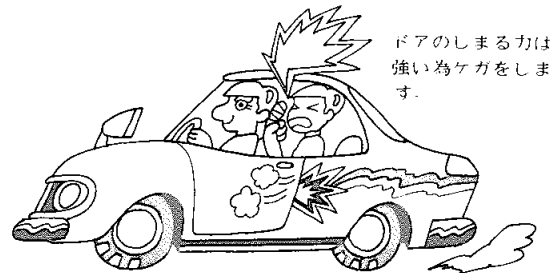
★ドア・ロックは確実にしましょう。

ドア・ハンドルをいじって開くと危険です。

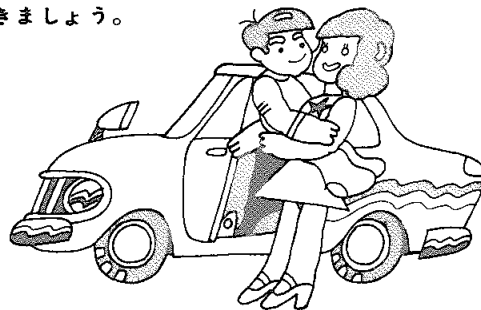


★ドアの開閉で手をはさまないようにしましょう。

必ずおとながドアの開閉をしましょう。



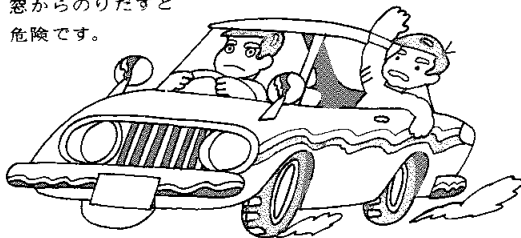
★車から離れるときは、こどもと一緒に連れてゆきましょう。



思いがけない事故が起きる場合があります。

★窓の開閉はおとなの手でしましょう。

窓からのりだすと危険です。

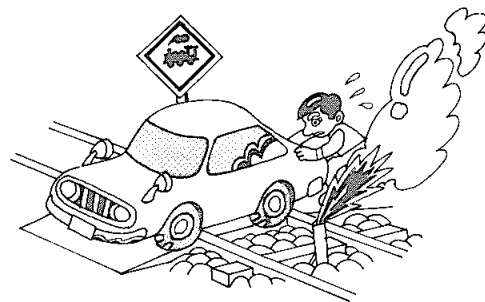


## 緊急処置

★踏切りなどで始動できなくなったときは、スターターで抜け出しましょう。

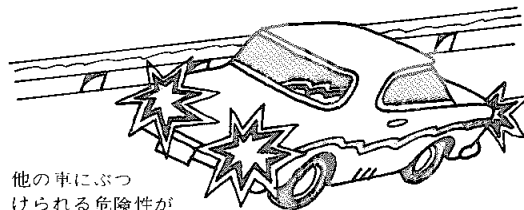
それでもだめなときは踏切に装備されている非常ベルを押すか、保安災筒で合図してください。

大きな事故を起す危険性があります。



★万一、故障したら

車を路肩に寄せハザード・ウォーニング・ランプを点滅させます。



他の車にぶつけられる危険性があります。

★遠出して万一故障し、なおせないときは整備手帳のサービス網をご覧になって、あなたの車の最寄りの取扱い販売店へ連絡しましょう。

